

おおふなと 社協だより

2020年3月号

 ふれあいネットワーク



今月の表紙

にいぬま たかお
新沼隆雄さん・ゆきえさん
くまがい よしと みゆき
熊谷義人さん・実由紀さん
ここな あんな しょうと
心那ちゃん・杏南ちゃん・翔人くん
(8歳) (7歳) (4歳)



【特集】～おおふなと支えあいまちづくり事業～
住民自らが課題解決できる地域づくり、
仕組みづくりの推進……………2～3
子育て支援研修会
「アンガーマネジメント研修」……………4
しあわせ・どっと・こむ……………4
赤い羽根共同募金結果報告……………5
お知らせ……………6～7
輝き人……………8

～おおふなと支えあいまちづくり事業～



住民自らが課題解決できる 地域づくり、仕組みづくりの推進

●地域の課題は地域の方で

少子高齢化の進行や家族構成の多様化により、生活課題に対する自己解決機能の低下が見受けられるとともに、地域における人々との繋がりが弱くなり、かつて存在した地域の支えあいの機能が失われつつあります。

このような社会背景のもと、住民同士が顔の見える関係性を構築し、他人ごとを我がごととして捉え、お互いに見守りあい、支えあい、助けあい、公的サービスの利用と併せ、住民自らが課題解決できる地域づくり、仕組みづくりが求められています。

この地域づくりを進めるため、社会福祉協議会では、大船渡市から委託を受け「おおふなと支えあいまちづくり事業」に取り組んでいます。

●地域福祉委員を配置

地域内の見守り活動など福祉活動の推進役を担うとともに、地域内で困りごとを抱え、支援を必要としている人の情報提供など、地域と社会福祉協議会との橋渡し役として、市内全域に地域福祉委員を配置しています。

相談機関に向くことが困難な人や、どこに相談したら良いのか

分からない時には、身近な窓口としてお声がけください。

●住民参加の地域活動を応援

住民同士が気軽に参加し、楽しみながら交流を図ることができ、サロン活動は、孤立予防や介護予防、生きがいづくり、そして住民同士の支えあいの基本となる顔の見える関係づくりなど、大きな効果が期待できます。

現在、市内80か所以上で開催されており、社会福祉協議会では運営の手伝いや立ち上げ時の相談支援、活動費の助成および他団体助成制度の申請支援も行っています。

来年度からは、サロン活動に加え移送支援やコミュニティ食堂などの地域活動も対象に活動費を助成する予定です。

●マップ作成から

課題解決に向けた取組へ

地域内の人と人との繋がりを視覚的に示す支えあいマップの作成を支援しています。

今年度は、市内5地域で新たに取り組まれたほか、すでに取り組んでいた4地域でも振り返り作業が進められました。さらに2地域では、支えあいマップ作成の勉強会も開催され、今後取り組みが進



日頃市町板用地区でも取組を始めました

められる予定となっています。
 各地域において、福祉マップや災害マップなど、様々なマップが作成されていますが、支えあいマップは、位置や場所を示すものとは違い、地域住民を血縁、交流、見守り活動など関わりのある人同士を線で繋いだり、矢印で示すことで、住民同士の関係性を容易に確認することができます。

これをきっかけに、住民同士の交流を目的にサロン活動を開始した地域や近隣住民との関わりが薄い人には意識的に見守りや訪問を行うなど、新たな地域活動、支えあい活動に繋がった地域もあります。

●電話を活用した見守りシステム

年齢を重ねても、住み慣れた地域、自宅で安心して暮らし続けられるよう、高齢者の一人暮らし、夫婦世帯を対象に「おげんき見守りシステム」の活用を推進しています。

このシステムは利用者自らが1日1回、決められた電話番号に発信し、音声案内に沿ってダイヤルすることで、その日の健康状態や安否を確認できるというものです。

ダイヤル発信内容は社会福祉協議会内のパソコンに反映され、必要に応じて職員が訪問し相談に応じます。

また、近隣者や地域の民生児童委員などが協力者として携わるケースもあり、利用者本人そして遠方で暮らす家族などにとっても安心して生活を送ることができます。

このシステムを利用する場合、新たな機器の購入やシステム登録料等は不要ですが、電話会社に支払う通話料金が発生します。

●地域助け合い協議会との連携強化

住民自らが地域課題について考え、解決に向けた取り組みの中心的な役割を担う地域支え合い協議会が市内11か所で立ち上げられています。社会福祉協議会では、活動費の

助成を行い組織運営の支援を行っています。今後は連携を強化し具体的な活動への協力、協働による取り組みを進めていく予定です。

●お気軽にご相談ください

地域課題解決の相談・支援窓口となるコミュニティソーシャルワーカー

（CSW）や支えあいマップ作成を支援・指導する支えあいマップインストラクターなど、職員の資格取得、資質向上に向けた取り組みを進めています。地域での取り組みにおいて、お困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。



令和元年度サロン開催・協力状況

対象期間：平成31年4月～令和2年1月

災害公営住宅	地域組織・ボランティア団体などが運営するサロン（運営協力）	回数	57
		参加人数	408
地域サロン	社会福祉協議会が主催するサロン	回数	88
		参加人数	1,393
陽だまりサロン	社会福祉協議会が主催するサロン	回数	20
		参加人数	133
合計		回数	165
		参加人数	1,934

令和元年度サロン・住民活動助成状況

	社会福祉協議会独自のサロン助成 ※サロンのみ	被災地住民支えあい助成（岩手県協働募金会）
助成団体数（件）	14	17
助成額（円）	607,000	3,689,000

笑っているパパ、ママが好き 子育て支援研修会 「アンガーマネジメント研修」



2月29日(土)、子育て家庭や子育て支援関係者を対象に、「アンガーマネジメント研修」を開催しました。

「アンガーマネジメント」とは、怒りの感情などを自分の中で整理し、怒りと上手に付き合うことで、自分や他人の怒りに振り回されることなく良好な関係性を保つことができる訓練方法です。

当日は16人が参加。なかには夫婦の参加もありました。

講師は、日本アンガーマネジメント協会公認講師の大高智佳



いつも笑顔で子どもに接することができるよう、みなさん真剣に受講しています

子さん。怒りの感情が生まれる仕組みや、怒りをコントロールする方法を実践を交えながら教えていただきました。

子どもの怒りは言いたいことが伝えられない、親の期待にこたえられない自分への不満などの「願い」の裏返しと捉えること。感情に任せたり理不尽に叱つたりせず、基準を明確に、相手を責めずに「○○してくれると嬉しいよ」など、気持ちを伝えることが大切であると話がありました。

最後に「普段から良いと思つたことを言葉にすることで、周りの環境が良くなるので実践してみたい」と締めくくりました。

参加者からは「子どもに対して『なんで』『どうして』と思ひ叱ってしまうことがあるが、怒りの感情を客観視することで怒らなくてもいい場面がたくさんあったことに気付くことができました」と感想がありました。

社会福祉協議会では、今後も子育てに役立つ研修や講習会を開催する予定です。

2組のカップルが誕生！ しあわせ・どっと・いむ



2月22日(土)、フレアイランド尾崎岬を会場に、「しあわせ・どっと・こむ」を開催しました。

このイベントは、男女の出会いの機会を創出することを目的に、気仙管内の関係機関・団体で実行委員会を結成し、毎年開催しています。

この日集まったのは男女合わせて17人。まずは男女混合の4グループに分かれ、クッキーの生地作りをしました。生地を寝かせている間に1対1のトークタイム。1人3分ずつの短時間でしたが、

初対面とは思えないほど会話が盛り上がった様子でした。

ランチタイムでは、市内のカフェやパン屋さんの食事とともに、陸前高田市にある珈琲店の淹れたてコーヒーを提供。会場がコーヒーの香りで包まれました。

食事のあとは再びクッキー作り。型を抜き、フライパンでクッキーを焼きました。火加減が難しく焦がしてしまうグループもありましたが、焼けたあとは思っておもいにデコレーションし、和気あいあいと共同での作業を楽しんでいました。

40分間のフリータイムを経て、いよいよ意中の人を記した告白カードの提出へ。その結果、今回は2組のカップルが成立しました。参加者からは「普段異性と話す機会がなく緊張したが、クッキー作りで意識せず話ができたと感想がありました」。

このイベントの実施にあたり、多くの企業・団体からご協力をいただきました。ありがとうございました。



はじめましての人たち同士でクッキー作り。距離が縮まりました





みなさんの善意を地域のために 赤い羽根共同募金結果報告



●自分のまちを良くする仕組み
大船渡市共同募金委員会では、今年度も各世帯に協力をお願いする「戸別募金」を中心に、募金活動を展開しました。

共同募金は、大きく次の2つに分けられます。

①一般募金

②歳末たすけあい募金
一般募金は、地域福祉活動を行っている団体への活動費の助成など、歳末たすけあい募金は



新しい募金のカタチに挑戦しました

新たな年を迎える時期に、支援を要する人たちを支える活動などに活用しています。

●あたたかい心が集結

一般募金と歳末たすけあい募金に各世帯からご協力いただいたほか、市内店舗やイベント等において協力を呼びかける「街頭募金」や「イベント募金」、学校や職場単位での取り組みを呼びかける「学校募金」や「職域募金」が行われ、多くの学校、企業、市民から、あたたかい心が寄せられました。

●多彩な取り組み

募金活動の内容や呼びかけにおいてもアイデア溢れる様々な取り組みが行われました。日頃市中学校では、大型ショッピングセンターで募金を呼び掛けながら伝統芸能の鹿踊りを披露。発表の場と募金活動が融合された先駆的な取り組みでした。その他にも多彩な取り組みにより、

募金総額は一般募金が5,342,961円、歳末たすけあい募金が3,297,025円となりました。(図1参照)

一般募金は次年度の地域福祉活動に活用されますが、そのうちの約7割が募金された市町村で、約3割が市町村を越えた広域において、課題解決のために活用されます。

一方、歳末たすけあい募金は、経済的な支援を抱えている世帯(231世帯)への見舞金のほか、食糧や日用品を提供しました。

皆様のたくさんのご協力ありがとうございました。



令和元年度 募金実績

1 一般募金・歳末たすけあい募金 単位：円

募金種別	一般募金	歳末たすけあい募金
戸別募金	4,790,900	1,988,875
街頭募金	176,032	108,291
法人募金	76,902	10,000
学校募金	103,965	140,283
職域募金	0	506,008
イベント募金	10,472	0
個人募金	80,935	45,556
その他	103,755	498,012
合計	5,342,961	3,297,025

2 災害義援金 単位：円

義援金名	募金実績額
令和元年8月佐賀県豪雨災害	31,798
令和元年度台風19号災害義援金	257,222
令和元年度台風15号災害義援金	28,759



マイヤ赤崎店では、猪川保育園の園児たちが精一杯募金の呼びかけをしました

16日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午
20日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
23日(木)	ハローワーク大船渡	午前10時～正午

申込・問い合わせ先
岩手県福祉人材センター 坂本さん
電話 080-8201-0200

* 就労準備支援事業情報

フリースペース

就労準備支援事業では、仕事をしておらず、「働く」ことに不安や悩みを抱えている人を対象に、体力づくりの機会を設けています。

日時 毎週木曜日
午後1時30分～午後3時30分

場所 大船渡市Y・Sセンター

内容 卓球、スポーツ吹矢ほか

持ち物 上靴(動きやすい服装で参加してください)

* ボランティア活動センター情報

令和2年度ボランティア活動保険受付 ～ボランティア活動保険が変わります～

ボランティア活動中のさまざまな事故による怪我や損害賠償責任を補償する保険です。令和元年度加入分は3月31日(火)で補償期間が終了しますので、令和2年度の活動を予定している人は早めの加入をおすすめします。

なお、令和2年度よりこれまでの4プランを見直し、2プランに整理されました。

【従来プラン】

	Aプラン	Bプラン
基本タイプ	350円	510円
天災タイプ	500円	710円



【新プラン】

基本タイプ	510円
天災・地震保障プラン	710円

※天災・地震保障プランは、基本プランと併せ地震、津波、噴火に起因する死傷に対し保障するプラン。

※保障内容、額は、従来プランのAプランと同様。

* その他

寄付・寄贈の受入 (2月分)

共同募金

下中井 (行政区)

寄付物品

有限会社大國物流 (食料品)

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。

お知らせ
令和2年4月

申込・大船渡市社会福祉協議会
問い合わせ先 電話 0192(27)0001(代表)

イベントについては新型コロナウイルス拡大防止のため中止となる可能性があります。

* 子育て支援事業情報

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

なお、4月より、子育てに関する各種相談に対応するための「子育て相談の日」を新たに設けます。

つどいの広場イベント日程 (4月)

開催日	内容	時間
9日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	午前10時～正午 午後1時～午後4時
16日(木)	子育て相談の日	午前10時～午後4時
	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
23日(木)	ともみんの健康相談会	午前10時30分～正午
30日(木)	ママのための 自力整体教室	午前10時30分～正午

おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている方ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日 午前10時～午後3時

場所 おおふなぼーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、4月17日(金) (午前10時～正午)に開催します。

* 岩手県福祉人材センター情報

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい人などの相談に応じます。相談を希望する人は、下記の問い合わせまでご連絡下さい。

介護のしごと相談日程 (4月)

開催日	場所	時間
13日(月)	大船渡市Y・Sセンター	午前9時～午後4時
14日(火)	おおふなぼーと	午前10時～午後3時

ふくし川柳終了と新企画のお知らせ

皆様からの投句を掲載してきた「ふくし川柳」のコーナーは、今月号で終了することとしました。長年にわたって投句いただいた皆様ありがとうございます。

来月号からは「我が家の○○」をテーマに寄せられた写真を掲載していきます。

テーマ 我が家の○○ ※○○は自由です
投稿先 立根町字下欠125-12「Y・Sセンター」内

大船渡市社会福祉協議会「我が家の○○」係
投稿方法 (1) 写真データをメール

(ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp)に添付

(2) 写真を郵送する

(3) 本会に直接写真を届ける

※一言説明コメント、名前(ペンネーム可)、
住所(町までで可)を必ず添えてください。

投稿締切 毎月5日

(5日が祝祭日の場合はその前日)

その他 投稿作品は返却しません。

【投稿例】

我が家のまるまる

我が家の
「ツンデレ娘」立根町 ゲボリンさん



遊んでほしいんでしょう？
もつと素直にほりな。

今月の表紙

新沼隆雄さん・ゆきえさん
熊谷義人さん・実由紀さん
心那ちゃん(8歳) 杏南ちゃん(7歳)
翔人くん(4歳)
(三陸町吉浜在住)

時々喧嘩もするけれど
姉弟みんな仲よし。
お父さん、お母さんも
子供たちが元気で毎日
が楽しいです。



*関係機関情報

法テラス気仙無料法律相談

法テラス気仙は、弁護士・司法書士による法律相談や被災者のための専門家相談を行っています。相談を希望する人は法テラス気仙までお問い合わせください。なお、予約された人を優先しています。

法テラス気仙無料法律相談日程(4月～11月)

【法律相談】

	開催日	時間
弁護士	月・火・木・金曜日	午前10時～午後4時
	第3日曜日	
	第1・3木曜日	午後6時～午後8時
司法書士	水曜日	午前10時～午後4時

【専門家相談】

	開催日	時間
税理士	第2・4水曜日	午前10時～午後4時

申込・問い合わせ先

法テラス気仙

電話 050-3383-1402

(平日午前9時～午後5時)



「ふくし川柳」

課題「捨てる」 富谷英雄 選

断捨離は捨てる勇氣から生まれ
捨てようと決意の後に惜しくなる
巢立つ子の部屋断捨離で空となり
文明は捨てる文化も醸成し

大・吉田 國子
吉・田中 君代
末・滝田 澄子
越・平田 栄夫

《佳作》

「これゴミね」 俺の宝に 妻ばやく

赤・鎌田香奈枝

(評)夫の大事な宝も、妻にとつてはまさに邪魔なゴミ。「これゴミね」という話言葉がよく効いて、夫に強烈なパンチを浴びせ掛けた光景が見えて痛快だった。

◆令和元年度「年度賞」発表

皆さんが投句して、佳作に選ばれた作品の中から
年度賞を発表します。

10月号課題「雑詠」 嶋村良子さんの作品

「ペン先を 命の限り 杖にする」

に決まりました。おめでとうございます。

輝き人

ふじ い じゅん
藤 井 純さん (31歳)



大船渡町在住。就労継続支援B型事業所@かたつむりの立ち上げに関わり、現在はサービス管理責任者として障がいを持つ人の自立に向けて日々奮闘している。

利用者さんとともに 今と将来の生きる姿をつくるために

○地域の福祉を見つめて

高校卒業後、いくつかの職を経験するなかで、これからの高齢化社会や福祉について考えるようになりました。

そのなかで、いろいろな出会いときっかけがあり、現在@かたつむりで8年目を迎え、障がいを持つ人の就労支援に携わっています。

○長所を伸ばし「できない」を「できる」に変える

現在、かたつむりに38人の利用者さんがおり、不良品のスプーンの分別や農作物の収穫作業、自社製品の製造などを行っています。

ここでの私の仕事は、利用者さんの支援計画を作成することです。机上での仕事は少なく、その人に合った計画になるよう作業場所を廻り、一人ひとりと対話をするよう心がけています。利用者さん一人ひとりの長所

と苦手な部分は何か、長所を伸ばし苦手な部分を減らすためには何が必要か毎日考えています。

○意思が一番

この仕事において、利用者さんの意思を大事にすることは忘れてはいけないと思っています。話すことができなければ、手を挙げてもらったり、指差し、写真を用いるなど、ギリギリまで自分の意思を伝えられるよう工夫をします。

目標を掲げる利用者さんの思いと、現状の細かな分析を行い、その思いに少しでも近づけるよう長い時間をかけて最善の方法を探っていきます。

原付バイクの免許を取りたいと望む利用者さんへは、寄り添い、励まし、粘り強く取り組み続けてきました。その結果、3人の利用者さんが皆4回目の試験で合格できたことは印象に残って

います。

利用者さんの意思を尊重し、どんなことがあってもぶれない諦めないことは私のなかでこの仕事の基本だと思っています。

○利用者の将来のために

かたつむりでは、利用者さんの今、将来へできることを増やすため、就労支援だけでなく、食事や歯磨きなどの生活スキルアップへの関わりも行っています。

事業所という限られた空間、限られた仲間だけではなく、これからも地域で住み続けていくために多くの「つながり」ができていくことが利用者さんの将来のためになることもあります。

今まで3人の利用者さんが一般企業に就職し、今でも働き続けています。これからもっと地域とともに生きていく利用者さんが増えていくことが私の願いです。



30社以上のお店に卸している今イチオシの商品です